

編集方針

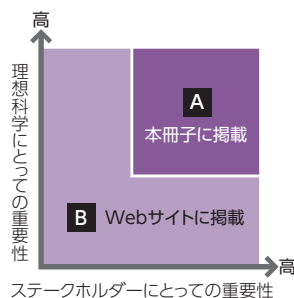
理想科学は2004年に「環境報告書」を発行し、以降、当社の環境保全活動についてご報告してまいりました。2006年からはタイトルを「環境経営報告書」と変更し、環境や社会とのかかわりが経営にどのように反映されているかを、わかりやすくお伝えしています。本年度版では、新製品「オルフィスEXシリーズ」の環境負荷の低減と利便性の向上について特集するとともに、海外グループ子会社の活動についてもお伝えしています。また、理想科学のことを初めてお知りになる方にも当社の活動概要をご理解いただけるように、開発、生産、物流など、企業活動の流れに沿って環境保全活動をご紹介します。例年と同様に、読みやすさ、わかりやすさへの配慮から、カラーユニバーサルデザインを取り入れて制作いたしました。冊子ではできるだけシンプルな記載に努めました。より詳細なデータについては、Webサイト (<http://www.riso.co.jp/>) をご覧ください。

● 報告媒体について

本報告書は冊子とWebサイトから構成されています。

A 冊子では広くステークホルダーの皆様全般を対象とした内容を掲載。

B Webサイトでは「本冊子A」に加え、より詳細なデータを「データブック」として追加掲載しています。



● その他のコミュニケーションツール

Webサイト、会社案内、広報誌「理想の詩」、株主通信、有価証券報告書／内部統制報告書、決算短信

● 報告対象範囲

国内については、理想科学工業株式会社および理想沖縄株式会社の全事業所ならびに全営業拠点を報告の対象範囲としています。海外については、理想科学グループの生産拠点を環境負荷データの対象範囲とし、非生産事業所の電力、燃料（社有車燃料を含む）、水の使用量についても一部対象範囲としています。

※対象範囲の詳細はデータ編に記載しています。

● 報告対象期間

2012年4月1日から2013年3月31日まで。

ただし、この期間以前もしくは以降の活動内容も一部含みます。

● 発行年月 2013年7月 ※次回発行は2014年7月を予定しています。

● 期間中の主な変化

- 2012年4月から、タイの生産子会社が操業を開始しました。また、中国・深圳に連結子会社を設立し、委託生産から自社生産に切り替え、7月から生産を開始しました。
- 2012年7月より、高速カラープリンター「オルフィスシリーズ」の輸送において、リターナブルパレットの運用を開始しました。
- 2013年1月に、高速カラープリンターの新製品「オルフィスEXシリーズ」を発売しました。

C O N T E N T S

ごあいさつ	3
理想科学の環境方針	4
理想科学について	5
主な製品	
会社データ	
事業拠点一覧	
グローバルデータ	
環境への取り組み姿勢	7

特集

高速カラープリンター 「オルフィスEXシリーズ」	9
-----------------------------	---

企業活動を通じた環境保全

企画・開発・設計	11
調達・生産	12
物流	13
営業・サービス・コミュニケーション活動	14
回収・リユース&リサイクル	15
CLOSE UP 「理想開発センター」誕生	16

社会とのかかわり

お客様とのかかわり	17
サプライヤーとのかかわり	18
株主・投資家とのかかわり	19
地域・社会とのかかわり	20
社員とのかかわり	21

マネジメント

経営体制	23
環境マネジメント	25

データ編

環境負荷の全体像	27
環境会計／環境関連データ	29
第三者審査	30